

京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報投稿要領

1. 論文、実践報告（以下、投稿論文等）の投稿は、未発表のものに限る。但し、口頭発表やその配布資料はこの限りではない。
2. 投稿論文等は、1行42字で35行（タイトル・氏名等に7行。余白は、上：21mm 下：27mm 左：20mm 右：20mm）とし、12枚以内とする。図表も制限枚数に含めるものとする。
3. 投稿論文等は、2月末日を提出期限とする。
4. 投稿論文等以外（特集論文を含む。）は、3月末日を提出期限とする。
5. 投稿および提出の方法等は、連合教職実践研究科ホームページの指示に従うものとする。
6. 投稿に際しては、個人情報の保護など人権への配慮等に十分に留意するものとする。
7. 本年報に掲載された論文等及びその他の記事は、京都教育大学機関リポジトリにおいて公開するものとし、原則として冊子体での発行は行わない。その扱いは、以下の通りとする。
 - ① 論文等及びその他の記事の複製権及び公衆送信権の行使については、国立大学法人京都教育大学に委託するものとする。
 - ② ①の規定は、著作者本人による論文等の利用（複製、インターネット上での公開、著書への収録等）を妨げるものではない。
 - ③ 共同執筆の場合は、筆頭者の責任において著作権問題を処理するものとする。
8. 別刷りの作成および送付は原則として行わない。
9. 引用・参考文献は文末にまとめて記すものとする。
10. 本文と引用文献等のフォントは同一とし、サイズは10.5ptとする。
11. 引用文献等の示し方は、以下の例に従うものとする。
 - 片山紀子（2008）『アメリカ合衆国における学校体罰の研究』風間書房。
 - 徳永俊太（2007）「戦後イタリアにおける歴史教育理論の変遷—歴史学と歴史教育の関係に着目して—」『教育方法学研究』第33巻、pp.85-96。
 - Dewey, J. (1933). *How we think.: A restatement of the relation of reflective thinking to the educative process.* Boston: Houghton Mifflin Company.
 - Loughran, J. J. (2002). "Effective reflective practice: In search of meaning in learning about teaching." In *Journal of Teacher Education*, 53(1), 33-43.

付記 本投稿要領は、『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第13号より適用する。